

今コノ兩混合液ノ効力ヲ比較シ得タ一例ニ就テ申シマスニ患者ハ二十歳ノ女デ腰椎上部ノ結核性脊椎炎ガアリ左側腸骨窩ニ約手拳大ノ膿瘍ヲ有シテ居タノデアリマシテ「ヨードホルムグリツエリン」ヲ注入シテ居ル時ハ常ニ百五十程ノ排膿ヲシテ居ツタモノガ「ヨードホルムアラビヤゴム」ヲ用フル様ニナツテカラ次回ノ穿刺ノ時ハ一〇〇cc、三回目ニハ五〇ccト減量シ膿瘍モ次第二縮小シテ來マシタ。近來ハ常ニコノ「アラビヤゴム末ヲ入レタ」ヨードホルム「混合液」ヲ使用シテ居リマスガ、何レモ以前ヨリ良好ナ成績ヲ得テ居リマス。コレハ注入サレタ「ヨードホルム」ガ膿腔内デ沈澱スルコトナク全般ニ行キ渡ルカラダト思ヒマス。

「レントゲン寫眞供覽」

診斷 右第一蹠骨結核

手術日 大正十三年九月二日 入院中今日マデ四十五日。

手術法 繫開搔破

術後第八日 ギプス繃帶、 ギプス繃帶一回換フ。

同 第二十八日 第一回 線放射、 今日マデ三回放射。

兄弟ニ發生セル顔面播種狀粟粒性狼瘡

村 田 均

本症ハ一八七八年英ノブリーフォックス氏始メテ記載セル稀有症ニシテ、我が國ニ於テハ當大學士肥博士ニヨリ始メテ發見記載セラレシヨリ四十餘例ヲ算ス。

余ハ曩ニ本症患者ヲ診スルニ當リ弟ニ同様ノ疾患アリトノ陳述ニヨリ來診ラス、メ就テ診スルニ果シテ兄弟同一ノ疾患ヲ有スルコトヲ知リテ次ノ二例ヲ報告ス、詳細ハ追テ報告スベシ。

第一例、笠間某、男、二十五歳、印刷業、金澤市産、大正十三年二月一日初診。

第二例、笠間某、男、十七歳、指物師、大正十三年二月十五日初診。

病理解剖上ヨリ觀タル肺結核症ト氣管、喉頭及腸ノ結核性病變トノ關係

金澤醫科大學病理學教室(主任中村教授)

伊 達 文 次

原著トシテ金澤醫科大學十全會雜誌ニ掲載スベキヲ以テ抄録ヲ省ク。

質 問 塚 本 政 次

問題外ナルモ臨床上肺結核患者ニテ腸結核、腹膜炎狀ヲ認メズシテ腸間膜腺腫脹ヲ觸知スル例多數認メマスガ、病理解剖上斯ノ如キ例多カラズヤ。

塚本氏ニ對スル答辯 伊 達 文 次

御尋ネノ如キ例ノ見ラル、事ハ御座イマスガ、臨床上淋巴腺ノ變ヲ注意セラレ腸ニ症候無カリシ例ニテ解剖上腸ニモ結核性變ヲ見ル場合アリ。

汗 腺 腫

大 桑 德 治

本症ニ關スル抄録ハ大正十三年七月ノ十全會雜誌第二十九卷第七號ニ記載セルヲ以テ省ク。

腭後壁ニ發生セル筋腫ノ一例